

# 吹田の郷

◆ 発行/すいた市民環境会議 ◆ 代表/小田忠文 ◆ 事務局/☎564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎・FAX 06-319-0630 小田 (午後6時以降)

◆ 年会費/個人会員1000円 法人会員10000円 ◆ 振り込み先/00980-28845 すいた市民環境会議

— すいたの自然環境ってどんなかな! —



## 市民向け自然環境講座 開講



回	日 時	名 称	講 師	会 場 集 合 場 所
1	10/20(火) 10:00~ 15:00	吹田市で見られる昆虫	兵庫県 人と自然の博物館研究員 八木 剛	・千里北公園 ・野外活動センター Bサイト
2	11/ 5(木) 10:00~ 15:00	身近な樹木と野草	大阪教育大学 付属池田小学校教諭 菅井 啓之	・紫金山公園 ・吹田市立博物館
3	11/19(木) 10:00~ 15:00	吹田市で見られる野鳥	吹田野鳥の会 平 軍二	・千里北公園 ・野外活動センター Bサイト
4	12/ 1(火) 13:30~ 15:30	吹田の自然と環境保全	吹田市立山田中学校 高畠耕一郎	・江坂公園 ・花と緑の 情報センター

◎ 詳しくはP 3をご覧ください。



幹事会 /市民会館にて  
10月17日(土) pm1:30~  
11月21日(土) pm1:30~  
お気軽にご参加ください。

# 行政とのパートナーシップ

最近「閉塞感」という言葉を聞きます。『閉じこめられた窮屈な、どうにも身動きのとれない、のびのびとできない』状態です。今、まさに国や地方公共団体の行政がそのような状態だと言われています。

私たちは“公共のこと”は行政の責任でされるべきと思ってきました。行政もそう思ってきました。その結果、多様化の今日、行政のなすべきことが多くなり、肥大化し、どうにも身動きのとれない状態になってきています。

「公共」とは広辞苑には「社会一般、おおやけ」の意味。「おおやけ」とは「国家・社会または世間。公然。私有でないこと」とあります。

つまり、個人生活や家庭生活、友人関係などの私的な関係でないことです。地域や社会をさすものでもあるのです。

自分の住む地域のことなら抵抗感も少なく、私たちにもできることがあります。しかし、市の単位となると今までの感覚では「そんなことは市がしなさいよ」となり、また「それを市民にしろ」というのは行政の怠慢、責任の回避などとなります。

私たちが意識を変えてみましょう。行政は私たちの税金で動いています。私たち、個人ではできないことを行政にしてもらっています。しかし私たちは今日まであまりにも行政に任せっぱなしにしていました。

もっと市の行政に関心を持ちましょう。私たちの吹田市なのです。行政が身動きのとれない状態なら市民が手助けしましょう。

行政では無理なこと、しにくいことがあれば私たちが手を貸しましょう。行政にチエがなければ市民のチエを集めましょう。三人よれば文殊の知恵というではないですか。

そうすることで私たちの吹田がよくなるのなら、私たちの生活がよくなるのなら、こんないいことはないではありませんか。私たちの支払っている税金を有効に使えるではありませんか。

行政も意識を変えてみませんか。市を担っているのは行政だけではないのです。行政が市民を動かしているのではないのです。行政のプロだけががよい行政ができるとは限りません。市民は「苦情発言機械」「利己主義軍団」「敵」ではないのです。行政は市民の大切な税金を有効に利用すべきです。

公園や体育館さらにゴミ処理場などを作ることは個人では無理です。だから税金を出して行政に代行してもらっています。しかしどのような公園・体育館・ゴミ処理場などを作るかは私たちにもアイディアがあります。

上記のことを言うと、市は「市民の代表である議会とともに行政を行っている」と言います。でも今の議会は本当の意味で私たちの代表として機能しているのでしょうか。まあこのことは置いておきましょう。

“行政とのパートナーシップ”とは行政と一緒に考え行動することです。つまり、行政の計画段階から市民が意見を言い、行政に参画することです。

計画段階で市民の意見が入らなくて、ボタンのかけ違いが起こると、古くは成田空港、最近では京都のポン・デ・サール橋や神戸新空港のようにモメるのです。

わがまち『吹田』に新しいパートナーシップを形成していきたいものです。



## 🍃 市民向け自然環境講座 開講について

すいた市民環境会議は、吹田市に「環境問題や自然保護に一人でも多くの人が関心をもてるような連続講座を、市民のために開設して欲しい」という要望書(98.3.23 市長へ)を提出していましたが、その結果、今年度の予算で環境講座が開設されることになりました。

講座の企画については講座担当幹事(高畠・秋山・菅原・石原・佐藤)が環境公害課の担当者と話すすみ、以下の内容に決まりました。

市民環境会議からは、市の講座運営のためにボランティア3人が、講座参加者の世話などを致します。

市民環境会議・会員のみならず市報「すいた」(9/25号の予定)に掲載されてから、参加申し込みをしてください。ふるってご参加ください!

### 記

🍃 名称 ; 吹田市/シティー・ナチュラリスト入門講座

🍃 主旨 ; 吹田市のほとんどが市街化され、生き物が生息することが難しくなってきた今日人と自然が共生するため吹田市の自然環境を見つめ考えてみませんか。

🍃 内容 ;

回	日 時	名 称	講 師	会 場 集 合 場 所
1	10/20(火) 10:00~ 15:00	吹田市で見られる昆虫	兵庫県 人と自然の博物館研究員 八木 剛	・千里北公園 ・野外活動センター Bサイト
2	11/ 5(木) 10:00~ 15:00	身近な樹木と野草	大阪教育大学 付属池田小学校教諭 菅井 啓之	・紫金山公園 ・吹田市立博物館
3	11/19(木) 10:00~ 15:00	吹田市で見られる野鳥	吹田野鳥の会 平 軍二	・千里北公園 ・野外活動センター Bサイト
4	12/ 1(火) 13:30~ 15:30	吹田の自然と環境保全	吹田市立山田中学校 高畠耕一郎	・江坂公園 ・花と緑の 情報センター

🍃 主 催 ; 吹田市生活環境部環境公害課

🍃 参加費 ; 無料/交通費・昼食については各自負担

🍃 募集人数 ; 30人(原則として全講座受講される方を優先にさせていただきます)

## 《 円照寺のカスミザクラ 》

円照寺は真言宗の名利。応任の乱で潰滅するまでは現在の万博公園から北千里公園に至る広大な寺域をもつ大伽藍であった。

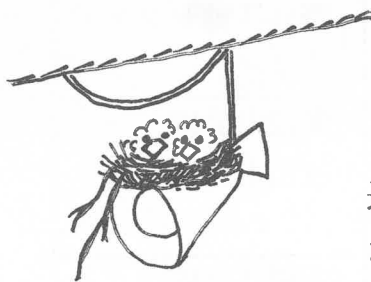
本堂のうら山、竹林に覆われて黒々とした巨体がそびえている。日本、朝鮮、中国など温帯原産の落葉高木で高さ20m、経60cmにも成長し北摂山地にも多く見られる。

花は淡紅色で4～5月、緑色の葉と同時に。でも一般にヤマザクラより2週ほど遅れ、むかしはこの花が咲くと「そろそろタケノコの出荷も近い・・・」と言われたとか。



浅田 都司男

◆樹高 16.0m  
◆幹回り 2.8m



## 今年も会えたよ ツバメに

邑本 恵子

春“今年もツバメを見かけないなあ”と思っていたら 5月中旬、近くの川で餌を探す3～4羽を発見。通勤の道すがら巣は何処と探すが見つからず。

6月に入り、青葉丘のバーのライトに止まって様子を見ている一羽のツバメ。道路を挟んで向かいの水田、隣の休耕田から泥や枯れ草を運んでくるのか、少しずつ形になって行く。2日で完成。胸の部分が真っ赤である。

通りすがりに見上げると目が合うようで・・・ところが、いつまでたってもヒナの頭は見えず。抱いている姿はあるのに、もしかして無精卵？ふ化に失敗したのでは？と心配がつのる。姿を見るのも可哀想で・・・ところがある日、小さなフワフワのグレーの綿毛頭がのぞく。二羽いる。また 毎日が楽しく、通りすがりに小ツバメさんと目で挨拶。

10日程で、すっかり黒の燕尾服に着替え、2～3日後には、電線ならぬコードに止まる練習をしていた、と思ったら巣からいなくなってしまった。無事巣だったね・・・今は巣の回りに垂れ下がった枯れ草が淋しく揺れている。

来年も帰っておいでとカラの巣を眺めている。

# 「吹田市内のツバメの巣」調査中間報告

平 軍二

「吹田市内にあるツバメの巣」について調査を継続中であるが、今までの調査経過を簡単に報告したい。

吹田市内で確認されたツバメの巣の総数は約 450個で、このうち今年繁殖のために使用した（と思われるものを含め）巣は 250個であった。

巣の作られていた場所は、商店では日よけテント下や蛍光灯、戸建て住宅やマンションではガレージ・駐車場などであった。

ツバメは毎年同じ巣に帰ってくると思われるが、戻って来ても巣が壊されていたり、また巣作り中や抱卵・育雛中にカラスに襲われたりすると、その近くに巣作り場所を探らしく巣は1個単独であるよりは集団で見つかる場合が多かった。

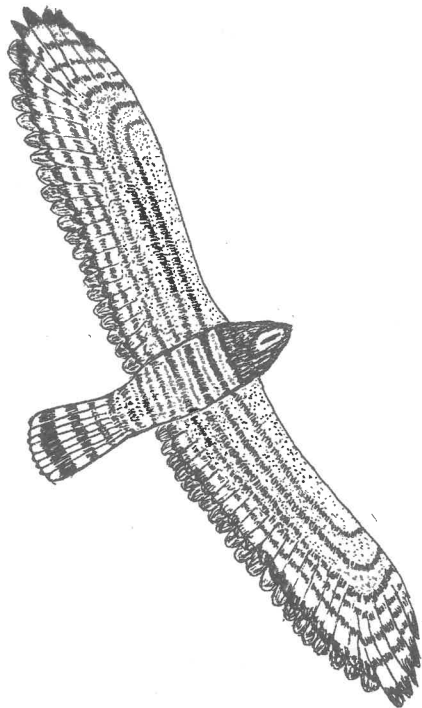
地域別では北高・南低で、市南部のツバメの巣が予想以上に少なかったので、追加調査を行いたいと思っている。

尚、今回の調査に当たっては市報に掲載し、市民に情報提供を呼びかけたが、FAX・電話・ハガキなどにより多数の方から「ツバメがいる、ヒナがいる」と連絡をうけた。これらの情報提供者を含め、約 100人もの人々に協力していただいた。御礼申し上げます。

~~~~~

## 《 吹田市の鳥 no. 5 》

### サシバ「差羽」(ワシタカ科)



芝生に寝転んで白雲のたなびく秋空を眺めていると、黒い点が西の方向へ流れて行くことがある。この点が輪を描き始めるため、ようやくその正体がサシバで、タカの秋の渡りと判明し納得する。日本国内の山野で子育てを終えたタカの仲間、カラスほどの大きさのサシバは、9月下旬～10月上旬に越冬地の南国に向け渡って行くが、上昇気流を利用するので明るい日中に移動する鳥である。

北摂の平野部から見える高槻～箕面にかけての山並みに、サシバが移動する大動脈があるため、時には風に乗ったサシバが平野部の上空に流れてくることがある。たまたま上空を眺めていてサシバが目につく幸運に恵まれるとると、何となく心が弾み嬉しさがふつふつと込み上げてくる一日となる。

平 軍二

大きく羽を広げ滑空していくサシバ

## Q 環境家計簿ってなあーに

✍ 西川 整子

私達に取り組んでいる環境家計簿は、ISO14000シリーズに準拠した環境マネジメントシステムの家庭版ともいえるもので、山田國廣先生の「1億人の環境家計簿」をもとに作られたものです。といっても難しいものではなく、誰でもすぐにできます。

- 家族で話し合う項目
- ① 省エネ・節水・ごみ減量など取り組む事項を決める
  - ② 目標設定
  - ③ マニュアル策定
  - ④ 実践

あとは1ヵ月ごとに送られてくる公共料金領収書「使用量のお知らせ」から記録表に転記し（ごみ減量などは別方法）前年度と比べ、どれだけの差があるかを見ます。

誰もがその家庭のやり方で取り組み、成果もやった分だけ数値で返って来ます。また、監査を受けることによって、継続的改善が計れ、環境配慮型のライフスタイルを定着させることができます。千里山生協では環境家計簿に取り組んで2年目。

『環境によくて、家計の節約にもなる  
環境家計簿を始めてみませんか』

43名それぞれが、地球への、生命への思いを胸に續けています。

## みんなで紫金山公園の“野生のツツジ”を咲かせよう！

紫金山の名前の由来にもなったコバノミツバツツジを復活させるための里山の手入れをみんなでしませんか！ すいた市民環境会議も応援しています。

### ◆ 計画の説明会・現場見学・一部調査

10月 4日（日）午後1時～午後3時頃／吹田市立博物館集合

### ◆ 林床の整備・間引き・木の整理活用

10月31日（土）午前9時30分～午後3時頃／吉志部神社集合

12月12日（土） ” ”

1月 9日（土） ” ”

2月13日（土） ” ”

3月 6日（土） ” ”

◎服装；長袖/長ズボン/丈夫な靴/帽子（あればヘルメット）手袋着用のこと

◎小雨決行

◎見物のみも可



# 私にもダイオキシンは減らせる！

ダイオキシン講座を受けて(98.7/27商工会議所主催)

小田 信子

ダイオキシンは人間にとって、生き物にとって危険な化学物質です。少量で死に至るものです。極少量でも影響を及ぼす場合があります。今、日本で問題になっているダイオキシンの多くが、ゴミを燃やした結果できたものです。焼却処理施設によって量の多少があるようですが、私たちが毎日出すゴミが元凶なのです。アルミのリサイクル過程でも出るようです。車の排出ガスも原因と言われています。

しかし、日本のゴミ焼却施設の多さは世界に比類のないもののようです。利用国土が狭いのでしかたのないことですが、焼却ゴミの量をうんと減らせば少しは良くなると思いませんか？

ゴミを減らすことは私たちの日常生活でも出来ることです。でも、生活スタイルを少し変えなければいけません。

ダイオキシン被害を防ぐため、  
未来に生きる子どもたちのため、  
私たちの生活スタイルを変えましょう。

- ☆ 過剰包装の品物は買わない (ゴミを増やすだけ)
- ☆ 燃やすとダイオキシンがでると言われる物は使わない  
(例えば「塩化○○○」の表示のあるもの)
- ☆ 再利用できる物はゴミにしない (リサイクルを!)
- ☆ アルミ缶よりビンを利用しましょ
- ☆ ジーゼル車の排出ガス規制を要求しましょ
- ☆ 自家用車の利用は最小必要限に
- ☆ 野焼きや簡易焼却炉はやめましょ
- ★ゴミを作らないようにしましょ。

行政の対応を待つばかりでなく、自分たちのできることから手をつけませんか。

さて、人間の体内に入ったダイオキシンを少しでも体外に出す方法があります。食物繊維や葉緑素の多いものを食べることです。汗にも少しだけ出ていきます。(人間の体内に入るのは食べ物によることがほとんどです)

余談ですが、市報によると、吹田市はゴミ焼却施設の新設(現在の施設が古くなるためだそうです)を予定しています。そのため、莫大な予算を組み、そのために毎年、積み立てをしていくのだそうです。ゴミを減らせば施設を新設しても大きくしすぎる必要は無いでしょう。税金もほかのことに使えます。やはり、ゴミを減らしましょ。

## 池・沼 生き物調査 (夏編)

✍ 小室 巧



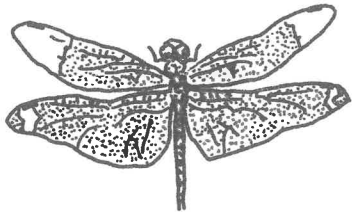
カワヤマトンボ

8月1日より吹田市内の“池・沼 生き物調査”を行っています。9月3日までに29ヶ所の池を、トンボ・高等水生植物・魚類を中心に、その他生物・池とその回りの環境・水温・PH・透視度・人間との関わりなど調査項目は多いですが、だれでも参加できる内容で行いました。冬には

鳥類を中心に行いますので、どしどし参加・ご協力をお願いします(とにかく人手が必要!)

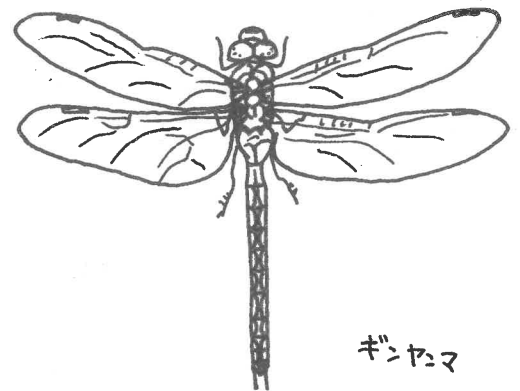
この調査を通じて“池のおかれている現状”がいろいろ見えて来ました。池のゴミの多さ・富栄養化・釣り糸やカン拾いをはじめると調査どころではありません。又 ほとんどの池にブルーギル・ブラックバスがいて在来種を脅かしているようです。

池の周りは、必ずといっていいほどフェンスがめぐらされ、やっかい物扱いされているようでした。しかし、そんな池でたくさんの生き物に出会いました。コバルトブルーに輝くカワセミ・2m以上の大きなアオダイショウ、池の上を飛んでいるトンボたちも皆同じように見えても捕まえてみると、胸の部分の模様が違っていたり、同じ種でも体色が違ったり、なぜかとても美しい色のもの



チョウトンボ

が多く、トンボ捕りにどっぷりはまりました。吹田にもまだまだなのか、かろうじてなのか生物が生息していますが、池ごとにかなりの違いや特色が見られます。ヒシや沈水植物が全面を覆う池、ソーセージのようなヒメガマが並ぶ池、ブルーギルだらけの池、アメリカザリガニが多い池、モツゴがまだまだいる池、ヨシノボリがたくさん岸にへばりつく池など、何が住んでいるのかワクワクしながら夢中で行った調査でした。



ギンヤマトンボ

7/25 市報「すいた」で 岸田市長が  
“すいたの古木・大木調査” にふれてくださっています。

吹田の環境問題を市民の側から考えていこうという吹田市民環境会議のみなさんが取り組まれた吹田の古木・大木調査の結果が、一冊の本にまとめられました。市内でいちばん背の高い木は千里北公園にあるポプラで、最も幹の太い木は、関西大学にあるクスノキだそうです。大木はこのほか、神社やお寺、公園、旧家の庭などで頑張っています。▼詩人の長田弘さんは「おおきな樹は街の記憶であり、樹がなくなれば、街の記憶もなくなる。おおきな樹のありようが示しているものは、時代の器量だ」とっています。大黒柱や大きな古時計などが、人や家の記憶を刻んでいるとすれば、古木や大木は街の記憶を刻んでいるのです。樹がなくなれば、その街で樹とともに育った人は、思い出はもろろん、自分のよりどころや故郷をなくしたような気がするかもしれません。▼昨年、市では、古木・大木を保護樹に指定し、残していこうと、みどりの保護・育成条例を制定しました。吹田市民環境会議のみなさんの調査は、条例を生かす第一歩です。この古木や大木を後世にだけ残していきけるかは、現代を生きるわたしたちの時代の器量、に大きくかわっているといえるでしょう。

おおきな樹と  
時代の器量

吹田市長 岸田 恒夫

いぢみ帳



大木と吹田の散策みち

山田みち

◆日時／7月25日(土) 9:30~12:00◆集合場所／阪急山田駅改札出口◆参加人数／30人

山田みちを歩いて

中澤 恵子

吹田市の環境教育フェアに行ったとき、《吹田の古木・大木》を見ながら散策を・・・の案内を見て是非参加してみたくくなりました。

いつも通り過ぎている山田方面ですが、新しい発見の連続で楽しいひとときでした。

まず阪急山田駅より出発。裏の竹林を眺め、枝垂れ柳が美しい王子池を通り、山田村へ。民家の脇には石仏群があり、馬上門があり、と昔の名残のする景色を堪能。

紫雲寺で見たいと思っていた格天井画に感激！円照寺境内のカスミザクラにも出会えることができて最高でした。

北海道の山奥で育った私には“木”は友達、森で遊んだ事も大きな財産です。

兄がケニアで社会林業プロジェクトに参加していたので訪問したことがあります。“木”を育てるのは、大変なことです。一度無くすと元に戻すのは至難の業です。私達より“木”の方が先輩。“木”は私達の命を育ててくれているのです。自然がいつまでも残っていてくれる吹田であってほしいと願った一日でした。



一緒に歩きませんか

北千里みち

- 日 時／11月28日(土)9:30~12:00
- 集合場所／阪急北千里駅改札出口
- 持 ち 物／水筒
- 参 加 費／500円(資料・保険)

伊射奈岐神社境内で

“ 木陰が本当にうれしい

アツ〜イ日でした ”

# 98年度会費納入者 (敬称略)'98.9.1現在

## 個人会員

|       |       |       |        |       |        |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 秋山こずえ | 浅田都司男 | 熱田 克子 | 阿部 誠之  | 池上 慶子 | 池澤 悦子  |
| 石田富佐吉 | 石田ミサエ | 稲波 誠  | 岩溪 恭子  | 上口 勝  | 梅田 茂   |
| 卜部 弘信 | 榎原 貞子 | 大越 好子 | 岡 和子   | 岡田 篤司 | 岡村 昇二  |
| 奥 朋子  | 奥田 倫子 | 小田 忠文 | 小田 信子  | 笠岡 英次 | 加藤 恵子  |
| 加藤 俊二 | 川口 実  | 喜田久美子 | 木田 祐子  | 北尾賀永子 | 木南美恵子  |
| 木原 治子 | 草野 弘靖 | 國田三紗子 | 黒沢 孝   | 黒田 悦三 | 黒田 能弘  |
| 小林 勝則 | 小室 巧  | 斎藤 伸吉 | 阪口 善雄  | 佐藤 和子 | 菅原 節子  |
| 鈴木たつ江 | 高井 治子 | 高畠耕一郎 | 田口 実   | 武田ゆき子 | 田中 一子  |
| 田中 豊  | 千代延明憲 | 出原 正道 | 寺尾 恵子  | 寺西由美子 | 土志田新八  |
| 中土 康雄 | 中村小夜子 | 西尾 熱子 | 西川 整子  | 萩原 元治 | 橋本 徹也  |
| 長谷川達海 | 平 軍二  | 広村 知幸 | 藤村 修   | 古谷 啓伸 | 牧野 展元  |
| 松岡 要三 | 松本 宗成 | 水川 晶子 | 宮脇 一彦  | 村上美智子 | 村田 好子  |
| 邑本 恵子 | 本山紀美子 | 山田 國廣 | 由上 勇   | 五十嵐真美 | 平野寿美子  |
| 森 一人  | 月田 桂一 | 高山 宣  | 巽 京子   | 三輪 信哉 | 林 捷子   |
| 二上 正子 | 北村 正子 | 村住 和子 | 栗本 修慈  | 市川貴美代 | 野口 裕康  |
| 大澤 浩子 | 平田 賢一 | 生野 秀昭 | 梅原千鶴子  | 佐藤百合子 | 木村雄次郎  |
| 小西 裕子 | 石原みずき | 池崎 圀  | 太田 英子  | 小出 悦子 | 阪上 靖子  |
| 柴原 恵  | 西埜 弥生 | 筆前 祐子 | 平山 節子  | 池淵佐知子 | 長谷川美津代 |
| 磯江 幸彦 | 上野 英三 | 熊野 節子 | 熊野三千代  | 速水 裕子 | 古沢 小百合 |
| 山口 克也 | 足立ちづ子 | 岸部 寿子 | 北村 章江  | 武下 郁子 | 船瀬 啓子  |
| 木下 宏子 | 松田 遼  | 中澤 恵子 | 前屋舗弘之  | 河面 堯  | 本地 綏子  |
| 清水由紀子 | 長坂 孟重 | 西木 勲  | 伏木 章   | 金子 誠一 | 長崎 尚子  |
| 土生 陽子 | 森本 彪  | 前浜 則子 | 後藤田波津子 |       |        |

## 法人会員

豊田産業(株)・玉城 明 大谷工業(株)・大谷 昌弘 テザック繊維ロープ  
西村印刷(株)・西村 保宏 海洋工業(株)

環境問題、自然・歴史・文化の保全、創成を考える市民組織

## すいた市民環境会議 入会受付中！

- ◆ 年会費 個人会員1000円／法人会員10000円
- ◆ 振り込み先 00980-3-28845 すいた市民環境会議